

# 「すこしは休もう」

(藤子・F・不二雄大全集 『オバケのQ太郎』 4巻)

総合人間学部 2 回生 中舛理玖

この話の魅力。それは、寝ることのすばらしさを、非常にストレートに表していることの一点に尽きる。

受験戦争を勝ちぬくため、寝る間を惜しんで勉強する浪人生、忠助。机にかじりついて離れない彼を休ませようと、Qちゃんと正太は力を尽くすことになる。そんな奮闘の中で、2人は忠助を何とかして布団に入れよう、眠らせようと画策する。そして、次の名シーンが誕生した（下図）。

こんなことを言うてる間に、2人は忠助のことを忘れて寝入ってしまう……。



↑右下の2人の笑顔に注目！

筆者もそうだが、寝ることが好きな人にとっては、たまらなくあるあるなセリフと光景が、この3コマに濃縮されている。

人気漫画化の宿命として、藤子不二雄両先生（オバQは④・Fの合作である）は当時、寝る暇もないほどの多忙であったに違いない。現に、76年は『名犬タンタン』の連載もしていたし、この年に『パーマン』も始まることになる。少しでもいいから眠りたい……。この願望は『21 エモン』の「超一流 流行まんが家」でも見て取れるが、漫画家というものは大変なものなのである。そんなことも感じさせる「すこしは休もう」であるが、純粋にみてもやっぱり面白いと思うのは筆者だけだろうか？

「すこしは休もう」が収録されている大全集4巻は、オバQ屈指の名キャラ、ドロンパが初登場する。「ひとりぼっちのドロンパ」や「ドロンパのたんじょう日」、「星をさがせ」など（ドロンパばかり！）、面白いだけでなく感動的な話も多く、とても充実しているのでおすすめだ。